

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	診療所管理事業一般経費											
	会計情報	款	総務費	項	施設管理費	目	診療所管理費	会計	国保診療所	事業コード	410101	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050101	施策名	地域医療体制を充実させる								
	開始年度	昭和36年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険診療所条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険雲原診療所の管理運営を行い、過疎・高齢化が進んだ地域において、地域住民が必要な医療を受けることができるようにし、地域住民の安心安全を確保する。		
	対象者	雲原診療所利用者	対象者数	単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	国民健康保険直営診療所として、雲原診療所を開設し福知山市民病院からの医師派遣により、診療を行う。 診療日 : 月・水 午前10時～12時/午後1時～2時30分(往診) 診療科目 : 内科		
	主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
		負担金	市民病院への医師派遣負担金	8,540
委託料		医療機器、事務機器保守料	1,372	
賃金		臨時職員賃金	1,358	
需用費、役務費ほか		光熱水費、消耗品等	2,131	
関連事業				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	14,787	13,800	14,289	17,837	
	②補正予算	0	0	0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	17,837	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	14,787	13,800	14,289	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.40/2	0.59/2	0.46 / 2	0.46 / 2	
⑤概算人件費		8,200	9,720	8,680	8,680	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		22,987	23,520	22,969	26,517	
⑦執行額		14,246	13,635	13,401		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		96%	99%	93.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		診療件数	件	2,327 / 2,500	2,009 / 2,500	/2,200	/	1800
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		診療所開所日数	日	144 / 144	141 / 144	121 / 144	/	92
		単位あたりコスト		98.9	96.7	110.8		
		単位あたりコスト					/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	山間へき地の診療所として地域住民のニーズは高いが、人口の減少により、利用者は年々減少している。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	市民病院の医師の交通費を協定に基づき負担しているが、内容や金額の見直しができている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	成果目標は、期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	過疎高齢化が進む地域であり、今後も利用者数は減少していくものと見込まれる。診療にかかる経費であるため評価は困難である。診療圏域の人口減少に伴い受診患者数が減少しており、診療件数の目標数を見直した。平成30年度から、雲原診療所患者送迎バス運行事業を統合した。		
今後の課題及び方向性	民間の医療機関の進出が期待できない過疎地等の医療の提供体制について、将来の方向性を検討していく必要がある。患者数の減少により、平成30年11月より診療日数を週2日としたが、継続して開設できるよう看護師等人材を確保する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	診療所医業経費											
	会計情報	款	医業費	項	医業諸費	目	医業諸費	会計	国保診療所	事業コード	410104	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050101	施策名	地域医療体制を充実させる								
	開始年度	昭和36年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険診療所条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険雲原診療所において、地域住民が必要な医療を受けることができ、健康を保持することができるように、医薬品や医療材料等を調える。		
	対象者	雲原診療所利用者	対象者数	単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	国民健康保険雲原診療所での医療行為に要する医薬品の調達や必要な検査及び医療機器の賃貸借を行う。		
	主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	需用費	医薬材料費	10,546	
	役務費	臨床検査手数料	867	
	使用料及び賃借料	酸素濃縮装置使用料	454	
	備品購入費	レントゲン撮影用防護エプロン	0	
関連事業				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	19,547	17,686	16,663	13,035	
	②補正予算	0	0	0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	13,035	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	19,547	17,686	16,663	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.30/0	0.31/0	0.3 / 0	0.3 / 0	
⑤概算人件費		2,400	2,400	2,400	2,400	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		21,947	20,086	19,063	15,435	
⑦執行額		17,961	12,203	11,867		
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)		92%	69%	71.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		診療件数	件	2,327	2009	1870	/	2,500
		診療収入	千円	31,081 / 34,200	26,637 / 32,276	23,870 / 29,051	/	30,000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		診療所開所日数	日	144 / 144	141 / 144	121 / 144	/	144
		単位あたりコスト		124.7	86.5	98.1		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	診療行為等に必要な経費である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	医薬品等は、適正に管理し計画的に発注している。 医薬品はジェネリック医薬品を徐々に採用し経費削減に取り組んでいる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	診療行為等に必要な経費である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	ジェネリック医薬品の採用促進や医薬品の計画的な発注、医薬品管理により経費を節減し、地域住民の医療の確保を行うことができています。		
今後の課題及び方向性	医薬品、医薬消耗品等の計画的な発注により引き続き経費節減に努める。 患者数の減少により、平成30年11月より診療日数を週2日としたが、継続して開設できるよう看護師等人材を確保する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

一次評価(担当課による自己評価)

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	課長 芦田 弥生											
	事業名	後期高齢者医療事業 一般経費											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	会計	後期高齢	事業コード	420601	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、福知山市後期高齢者医療に関する条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の健康増進を図るため、後期高齢者医療制度の適切な運用を行う。			
	対象者	後期高齢者医療被保険者	対象者数	-	単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事業業 <input type="checkbox"/> その他 ()			
	委託先・実施主体等	(株)ケーケーシー情報システム他			
	事業概要	後期高齢者の傷病や死亡に関して必要な事務を執り行う。また、後期高齢者医療制度の運営主体である京都府後期医療広域連合と連携し、市の事務である申請・届出受付等の事務を行う。			
	主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)	
		役務費	郵送料	5,843	
		委託料	後期高齢者医療システム保守・改修費	2,924	
		備品購入費	広域連合システム更新に伴う電算機等購入	1,716	
		賃金	臨時職員賃金	1,167	
使用料及び賃借料・旅費・需用費		使用料及び賃借料24、旅費36、需用費138	198		
関連事業					

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	10,320	9,534	10,713	23,645		
	②補正予算	0	0	2,700	0		
	③流充用額	0	0	0	0		
	④繰越額計			0	0		
	前年度繰越						
	次年度繰越						
予算と執行の状況	財源内訳(①④内訳)						
	一般財源	0	0	0	0		
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他特財	10,320	9,534	13,413	23,645		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金	種類	広域連合共通経費	実績金額	決算付属資料
	特財名称	一般会計繰入金	種類	職員給与等繰入金	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.40/0	0.52/0	0.79 / 0	0.79 / 0			
⑤概算人件費	3,200	4,160	6,320	6,320			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	13,520	13,694	19,733	29,965			
⑦執行額	8,636	9,049	11,848				
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)	84%	95%	88.3%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0	千円	0	0	0	/
		0		/	/	/	/	0
業績指標	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業経費	千円	8636 / 10320	9049 / 9534	11848/13413	/	10000
		単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
				/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・後期高齢者医療事業を運営するための必要経費。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・後期高齢者医療事業を運営するための必要経費。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・事業運営上の必要経費であり、予算の範囲内で収め、事業経費を有効活用している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	広域連合システム更新に伴う経費等が増えたが、最小限の支出にとどめた。 後期高齢者医療事業を行うのに必要な経費であり、目標は定めにくい。 【定性的評価】		
	今後の課題及び方向性	後期高齢者医療事業を行うのに必要な事務経費であり、極端な経費削減は望めないが、引き続きコスト削減を意識して取り組む。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	課長 芦田 弥生											
	事業名	後期高齢者医療保険料徴収事業											
	会計情報	款	総務費	項	徴収費	目	徴収費	会計	後期高齢	事業コード	420604	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、福知山市後期高齢者医療に関する条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (広域連合事務の一部実施)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の健康増進を図るため、後期高齢者医療制度の適切な運用を行う。										
	対象者	後期高齢者医療被保険者	対象者数	12,172	単位あたりコスト	0.6						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事業業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	(株)田中印刷										
	事業概要	後期高齢者医療制度を健全に運営するために、京都府後期高齢者医療広域連合が賦課した保険料の徴収を市が行う。										
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		役務費	郵送料、事務取扱手数料					2,044				
委託料		納付書封緘発送業務委託					495					
需要費		消耗品(保険料納付書等)					285					
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	3,458	3,458	3,458	3,286		
	②補正予算	0	0	0	0		
	③流充用額	0	0	0	0		
	④繰越額計			0	0		
予算と執行の状況	前年度繰越						
	次年度繰越						
	財源内訳	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他特財	3,458	3,458	3,458	3,286		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金	種類	職員給与等繰入金	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	手数料	種類	督促手数料	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.65/0	0.86/0	0.49 / 0	0.49 / 0			
⑤概算人件費	5,200	6,880	3,920	3,920			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	8,658	10,338	7,378	7,206			
⑦執行額	2,636	2,754	2,824				
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	76%	80%	81.7%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		現年分 収納率	%		99.75/99.85	99.72/99.85	99.59/99.85	/ 99.85
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		新規口座振替登録件数		474	358	389	/ 400	500
		単位あたりコスト		5.6	7.7	7.3		
		ページー口座振替受付件数	件	131	139	129	/ 140	150
		単位あたりコスト		20.1	19.8	21.9		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・後期高齢者医療制度に基づき事務を行っている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・通知書等の封入封緘処理業務を業者委託することで作業効率上がり、超過勤務手当削減につなげている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・事業運営上の必要経費であり、目標を定めにくい。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	特別徴収(年金特徴)が主な納付方法であるため収納率は高い水準で推移している。 対象者の増加にあわせ、郵送料が増加している。		
今後の課題及び方向性	引き続き収納率の向上を目指す。 滞納被保険者に対しては、徴収を実施している社会福祉課と情報共有しながら、引き続き適正な徴収を実施していく。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

来年度方針

一次評価(担当課による自己評価)

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	課長 芦田 弥生											
	事業名	後期高齢者医療事業 広域連合納付金											
	会計情報	款	後期高齢者連合納付金	項	後期高齢者連合納付金	目	後期高齢者連合納付金	会計	後期高齢	事業コード	420603	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、福知山市後期高齢者医療に関する条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の健康増進を図るため、後期高齢者医療制度の適切な運用を行う。					
	対象者	後期高齢者医療被保険者	対象者数	-	単位あたりコスト		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	広域連合規約に基づき算出され、各市町村納付金として決定された金額を後期高齢者医療広域連合負担金(分賦金)として支払う。					
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		負担金補助及び交付金	療養給付費負担金			854,641	
負担金補助及び交付金		保険料等負担金			719,969		
負担金補助及び交付金		保健基盤安定負担金			250,217		
負担金補助及び交付金		高齢者医療広域連合負担金(分賦金)			21,746		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	1,789,161	1,861,028	1,865,298	1,941,665		
	②補正予算	0	0	0	0		
	③流充用額	0	0	0	0		
	④繰越額計			0	0		
予算と執行の状況	前年度繰越						
	次年度繰越						
	財源内訳						
	一般財源	0	0	0	0		
	国支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他特財	1,789,161	1,861,028	1,865,298	1,941,665		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金	種類	療養給付費繰入金	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	保険料	種類	特別徴収保険料	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.50/0	0.22/0	0.11 / 0	0.11 / 0			
⑤概算人件費	4,000	1,760	880	880			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	1,793,161	1,862,788	1,866,178	1,942,545			
⑦執行額	1,769,462	1,826,164	1,846,573				
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99%	98%	99.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0	千円	/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		0		/	/	/	/	0
		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	広域連合納付金	千円	1769462	1826164	1846572	/	1840000	
	単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0			
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・後期高齢者医療制度に基づき事務を行っている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・後期高齢者医療制度に基づき事務を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・後期高齢者医療制度に基づき事務を行っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	京都府後期高齢者医療広域連合が示した額を納付する事業であり、評価は困難である。 【定性的評価】		
今後の課題及び方向性	引き続き京都府後期高齢者医療広域連合が示した納付金を適正に収める。			

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	課長 芦田 弥生											
	事業名	後期高齢者医療保健事業											
	会計情報	款	保健事業費	項	健康保持増進事業費	目	健康診査費	会計	後期高齢	事業コード	420605	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、福知山市後期高齢者医療に関する条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (広域連合補助事務)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の健康増進を図るため、後期高齢者医療制度の適切な運用を行う。										
	対象者	後期高齢者医療被保険者	対象者数	12,172	単位あたりコスト	2.5						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事業業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会、一般財団法人京都予防医学センター										
	事業概要	医師会と業務委託契約を行い、市内の医療機関で健康診断を受診された受診費用及び健康医療課が実施する集団健診の費用を負担する。										
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		委託料	健康診査委託料					26,316				
		役務費	役務費					680				
		賃金	看護師等臨時職員賃金					657				
		需用費	ガソリン代、消耗品					136				
使用料及び賃借料		送迎タクシー借上げ料					25					
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
①当初	26,726	27,394	27,597	29,603			
②補正予算	0	0	0	0			
③流充用額	0	0	484	0			
④繰越額計			0	0			
前年度繰越							
次年度繰越							
財源内訳(①③④内訳)							
一般財源	0	0	0	0			
国支出金	0	0	0	0			
府支出金	0	0	0	0			
地方債	0	0	0	0			
その他特財	26,726	27,394	28,081	29,603			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一般会計繰入金	種類	職員給与等繰入金	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	雑入	種類	健康診査事業補助金	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	1.80/0	1.75/0	0.24 / 0	0.24 / 0			
⑤概算人件費	14,400	14,000	1,920	1,920			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	41,126	41,394	30,001	31,523			
⑦執行額	25,035	27,606	27,814				
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)	94%	101%	99.0%	0.0%			

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	一人当たり医療費	円	903989	933233	940000	/	940000	900000
受診率	%	17.1	18.6	18.65	/		20.0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	制度利用者数	人	2045 / 11994	2250 / 12090	2265 / 12207	/	2300	2400
	単位あたりコスト		12.2	12.3	12.3			
			0	0	0	/		0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・早期発見・早期治療・重病化予防のため必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・後期高齢者健診は無料とし、受診者の増加を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	早期発見、早期治療、重症化を予防することで、医療費の抑制につながる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	30年度実績では利用者数が2,265人(見込み)となり当初予測より受診人数が低くなった。受診率向上のための啓発の方法を再検討する必要がある。健診結果がどの程度重症化予防につながっているかの把握ができていない。		
	今後の課題及び方向性	健診受診率向上のため、広報・啓発の方法を見直す。健診の結果がどの程度重症化予防につながっているかの実態把握ができていないことから、実態把握の方法を決める。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	課長 芦田 弥生											
	事業名	後期高齢者人間ドック事業											
	会計情報	款	保健事業費	項	健康保持増進事業費	目	健康診査費	会計	後期高齢	事業コード	420610	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、福知山市後期高齢者医療に関する条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (広域連合補助事務)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の健康増進を図るため、後期高齢者医療制度の適切な運用を行う。										
	対象者	後期高齢者医療被保険者	対象者数	12,172	単位あたりコスト	1.0						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	一般社団法人福知山医師会										
	事業概要	【実施機関】 医師会から指定を受けた医療機関(福知山市民病院・京都ルネス病院) 【検査内容】 基本的検診(問診・身体測定・理学的検査・血圧)尿検査・血液検査(脂質・貧血・血糖・肝機能・腎機能・尿酸)・心電図検査・腹部超音波検査・腫瘍マーカー検査・胃部検査(胃透視か胃カメラ選択)・胸部レントゲン検査・便検査(便潜血2日法) 【自己負担額】 7,200円(委託金額の2割) 【実施期間】 5月中旬から翌年3月										
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		委託料	人間ドック検査業務委託料					8,924				
役務費		勸奨広告料、郵送料					93					
需用費		ドック受診申込書印刷、消耗品					23					
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
①当初	9,256	9,417	9,417	9,410			
②補正予算	685	0	0	0			
③流充用額	0	0	△ 484	0			
④繰越額計			0	0			
前年度繰越							
次年度繰越							
財源内訳(①③④内訳)							
一般財源	0	0	0	0			
国支出金	0	0	0	0			
府支出金	0	0	0	0			
地方債	0	0	0	0			
その他特財	9,941	9,417	8,933	9,410			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	雑入	種類	京都府後期高齢者医療制度特別対策補助金	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	雑入	種類	市町村との連携強化事業補助金	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.56/0	0.52/0	0.38 / 0	0.38 / 0			
⑤概算人件費	4,480	4,480	3,040	3,040			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	14,421	13,897	11,973	12,450			
⑦執行額	9,866	8,410	8,924				
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99%	89%	99.9%	0.0%			

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	一人当たり医療費	円	903,989	933,233	940,000	/	900,000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	制度利用者数	人	308/11,994	295/12,090	309/12,172	/	320
	単位あたりコスト		32.0	28.5	29.3		
			0	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・健康志向が高まり人間ドックのニーズは高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・利用者自己負担額について他市の状況や広域連合からの補助金等から再検討が必要である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・早期発見、早期治療により重症化、長期化を防ぎ医療費の抑制が期待できる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	健康志向の高まりから人間ドックニーズは高いと思われ、H30年度は申込み者が増加した。受診結果を受けてからの保健指導等に取り組むことができておらず、医療費の抑制につながっているか不明である。また、人間ドックに対する国からの補助金が段階的に削減・廃止されることや、自己負担金の他市との比較から、制度の見直しを図る必要がある。		
今後の課題及び方向性	自己負担金について、補助金が段階的に削減・廃止されることなどから医療費適正化対策の取組とあわせ、他市の状況なども参考にしながら適正な価格を設定する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

来年度方針

一次評価(担当課による自己評価)

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	公設民営診療施設維持管理事業											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費	会計	一般会計	事業コード	410113	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050101	施策名	地域医療体制を充実させる								
	開始年度	平成4年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	民間の医療機関の進出が期待できない地域において、市の診療施設を医師等に貸付けることで診療所を開設する医師を確保し、地域住民が安心して必要な医療を受けることができるようにする。(市街化区域を除いて中学校区に1箇所以上の内科診療所)					
	対象者	-	対象者数	-	単位あたりコスト		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	姫路ナブコ㈱					
	事業概要	市が所有する診療施設、医師住宅及び医療機器の維持管理を行う。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	需用費	施設修繕料等			171		
	役務費	建物等保険料・保守点検手数料等			293		
	委託料	自動扉保守点検業務			211		
	関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	809	1,009	982	982	
	②補正予算			0		
	③流充用額	258	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	258	0	0	982	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	809	1,009	982	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.10/0	0.1 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0	
⑤概算人件費		800	800	960	960	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		1,867	1,809	1,942	1,942	
⑦執行額		1,067	920	675		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	91.2%	68.7%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		診療所開設数	施設	5 / 4	5 / 4	4 / 4	/	4
		管理施設数(医師住宅含む)	施設	10 / 4	10 / 4	10 / 4	/	4
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		施設・修繕費等	千円	608	437	171	/	-
		単位あたりコスト		-	-	0.0	/	
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市周辺部の医療を確保する上で重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設や医療機器の老朽化により、修繕が増加傾向にある。 ・施設や医療機器を民間へ売却または譲渡し運営していただく方が効率的である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・一部地域について診療所数の整理が必要である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		公設民営診療所を設置することで、地域医療の確保を図ることができた。しかしながら、施設を民間に売却または譲渡し、民間で設置していただく方法や、民営とする場合の契約内容も検討していく必要がある。	
今後の課題及び方向性		市周辺部の医療機関が少ない地域において、どのように地域の医療需要に対応するのか、利用者の状況や近隣医療施設の有無、交通アクセス等を勘案したうえで、公共施設マネジメントとも整合性をとりながら検討していく必要がある。また、各施設の老築化等による修繕費等について、計画的な執行が必要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	公共施設除却事業(その他施設)											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費	会計	一般会計	事業コード	410119	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
	開始年度	平成29年度											
	終了予定年度	平成31年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公共施設マネジメント実施計画に基づき、診療所跡地等の整理を行い有効活用を図る。					
	対象者	-	対象者数	-	単位あたりコスト		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(株)細見工業					
	事業概要	旧診療所建物・土地について、老朽化した建物は取壊しのうえ、地元自治会や民間への譲渡、売却等を行う。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		工事請負費	旧細見診療所倉庫解体工事			783	
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	0	990	1,100	0	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越		0	0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
財源内訳(①③④内訳)	一般財源	0	0	0	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	900		
	その他特財	0	990	200		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0/0	0.1 / 0	0 / 0	0 / 0		
⑤概算人件費	0	800	0	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	1,790	1,100	0		
⑦執行額	0	583	783	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	-	58.9%	71.2%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		売却件数	件	0 / 0	0 / 0	1 / 1	/	1
	売却面積	m ²	0	0	/1023.23	/	/1023.23	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	境界確定面積	m ²	0	1023.23	-	/	1023.23	
		単位あたりコスト	0.0	0.6		/	0	
		単位あたりコスト						

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・旧細見診療所倉庫は老朽化が激しく、使用できるものではないため、土地の売却を前提とした取壊しは必須である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・土地の整理方法として他の選択肢はない。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・土地売却、歳入の確保に有効な事業であり、H30年度以降早急に売却につなげる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		市有地の有効利用を図り売却するため、平成29年度に旧細見診療所跡地の境界確定を行った。 平成30年度には、建物の取り壊しを行い、年度中に売却予定であったが、平成31年4月1日契約で売却となった。	
今後の課題及び方向性			

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	福祉医療給付事業(老)											
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	会計	一般会計	事業コード	420247	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の生活を支援する								
	開始年度	昭和50年(1975)											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	老人医療助成事業費補助金交付要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	65歳以上70歳未満の高齢者の医療にかかる経済的な負担を軽減し、高齢者の健康の保持増進を図る。				
	対象者	65歳以上70歳未満の高齢者で一定の要件を満たすもの	対象者数	1,329	単位あたりコスト	68.5
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	京都府の補助事業。65歳以上70歳未満の高齢者(後期高齢者医療の被保険者を除く)の医療機関での窓口負担金の軽減を図る。所得制限あり。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)		
	扶助費	医療費自己負担金の助成	50,877			
	役務費	審査支払手数料	1,557			
	関連事業					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	88,157	85,973	85,073	67,252	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越			0		
	次年度繰越			0		
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	29,805	29,116	48,834	22,673	
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	58,352	56,857	36,239	44,579	
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.65/0	0.66 / 0	0.75 / 0	0.75 / 0		
⑤概算人件費	5,200	5,280	6,000	6,000		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	93,357	91,253	91,073	73,252		
⑦執行額	80,346	65,110	52,434			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	91.1%	75.7%	61.6%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		医療費自己負担金の助成額	千円	77,862	63,054	50,877	/	60,000
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		月平均受給者数	件	2,047	1,729	1,320	/	1,600
		単位あたりコスト		39.3	37.7	39.7		
			0	0	0	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・安心して医療機関にかかれるように住民生活に欠かせない事業であり、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・京都府の要綱に基づき行っている事業であり、京都府補助金交付対象事業である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・医療費を助成する事業であり低所得者において有効な事業である。 ・利用者人数、利用件数の増減、費用の削減等の目標を定めにくい。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		京都府の補助要綱に基づき実施している。平成27年度に自己負担割合を1から2割に引き上げた。対象世帯の類型が廃止されたことや65歳～70歳人口の減少等により、受給者数、助成額とも減少した。	
今後の課題及び方向性		京都府の補助事業で、府独自のセーフティネットの性格を持っている。自己負担額の変更や世帯類型が廃止などにより、対象者が減少しており事業規模が縮小している。 制度利用に際しては本人からの申告によるため、65歳到達時に勧奨の通知を送付している。 引き続き、必要な人が必要な医療を受けることができるよう適切な事業運営を行っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	重度心身健康管理事業											
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	会計	一般会計	事業コード	420248	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の生活を支援する								
	開始年度	昭和58年(1983)											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	重度心身障害老人健康管理事業費補助金交付要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	健康な高齢者より疾病が重度化しやすい心身に障害のある高齢者に対して、健康管理に要する費用を助成することで、重症化を防ぎ、障害者福祉の向上を図る。										
	対象者	重度、中度の障害者手帳保持者で交付要件を満たすもの	対象者数	1,595	単位あたりコスト	83.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	後期高齢者医療被保険者のうち、身体障害者手帳1級から4級、療育手帳A及びB、精神障害者保健福祉手帳1級から3級を交付されている人について、医療機関等の窓口で支払う自己負担金額を健康管理に要する費用として助成する。府費事業分と市費単独事業(上乘せ分)がある。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)					
	扶助費	医療費自己負担金の助成				123,175						
	役務費	審査支払手数料				1,168						
	関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	130,007	130,373	129,101	127,796	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	95,883	93,162	94,839	91,090	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	34,124	37,211	34,262	36,706	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.45/0	0.45 / 0	0.42 / 0	0.42 / 0	
⑤概算人件費		3,600	3,600	3,360	3,360	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		133,607	133,973	132,461	131,156	
⑦執行額		128,394	128,327	124,343		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		98.8%	98.4%	96.3%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		医療費自己負担金の助成額	千円	127,193/128,786	127,135/129,139	123,862/127,898	/	125,000
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		平均受給者数	人	1663	1632	1595	/	1600
		単位あたりコスト		77.2	78.6	78.0		
	(再掲)平均受給者数(市単独事業分)	人	844	813	785	/	0	
	単位あたりコスト		152.1	157.8	158.4			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	・医療費にかかる経済的負担が軽減でき、障害のある高齢者の健康の保持・増進につながる。 ・必要な人に必要な医療が提供されているか検証が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	市単独事業(上乘せ分)については他市の状況等も考慮し、制度のあり方を検討する余地がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・心身に障害のある高齢者の医療費を助成する事業であり、障害者福祉の向上に有効な事業であるが、制度のあり方について検討する必要がある。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		府下市町において本市での市費単独事業(上乘せ分)は対象者が広く、障害を起因とする傷病に対する医療の補助となっているのかの分析ができていない。このため、H29年度からH30年度にかけ関係者、関係団体で構成する検討委員会にて事業のあり方を検討した。	
今後の課題及び方向性		市単独事業(上乘せ分)について、H31に医療費の分析を行ったうえで、本来の事業の目的にあった医療の助成ができていないかの検証を行う予定。分析の結果を関係者、関係団体で構成する検討委員会で事業のあり方を検討し、平成32年度予算に反映させる予定である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課						
	作成責任者	芦田 弥生						
	事業名	福祉医療給付(老)運営事業						
	会計情報	款 民生費	項 社会福祉費	目 老人福祉費	会計 一般会計	事業コード 420249	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 050502	施策名 高齢者の生活を支援する					
	開始年度	昭和50(1975)						
	終了予定年度	平成32年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	老人医療助成事業費補助金交付要綱						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福祉医療(老)及び重度心身健康管理事業を適切に運営する。		
	対象者	マル老及び健管事業対象者	対象者数	単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	福祉医療給付(老)及び重度心身障害老人健康管理事業の運営に係る事務費用		
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
		賃金	臨時職員賃金	1,335
役務費		郵送料	393	
需用費		消耗品、印刷製本費(受給者証印刷)	143	
旅費		出張費	15	
関連事業				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,794	2,594	2,520	14,786	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	2,792	2,592	2,518	13,771	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	2	2	2	1,015	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.25/0	0.38 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0	
⑤概算人件費		2,000	3,040	2,400	2,400	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		4,794	5,634	4,920	17,186	
⑦執行額		1,968	1,867	1,886		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		70.4%	72.0%	74.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業経費	千円	1,969	1,868	1,886	/	1,800
		単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
				/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・福祉医療給付、重障老人健康管理事業の運営費用である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減、効率化に向けた工夫を検討すべきである。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・事業運営上の必要経費であり目標設定を立てにくい。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	高齢者への医療費を助成する事業実施に必要な事務経費であり必要最小限の経費に抑えた。【定性的評価】		
今後の課題及び方向性	事業運営上必要な経費である。 H31年度に、重度心身健康管理事業の医療費の分析を行ったうえで事業のあり方を検討する予定であり、医療費分析業務委託料を計上した。なお、H31年度は福祉基幹システム更新のため事業規模が増大する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	国民年金事務事業											
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	国民年金事務費	会計	一般	事業コード	450276	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	昭和36年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民年金法等											
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民年金制度への理解を深め、保険料納付率の向上を図り、将来の無年金者を減らすことにつなげる。										
	対象者	第1号被保険者(任意加入を含む)	対象者数	7,159	単位あたりコスト	3.6						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	市町村基幹業務支援システム開発共同企業体										
	事業概要	法定受託事務である国民年金事務及び国(日本年金機構を含む)との協力・連携事務を進める。 法定受託事務では、第1号被保険者に係る各種届出・申請・請求に係る事務を行なう。また、協力・連携事務は、第1号被保険者の年金受給権確保のため、保険料納付督促や前納等の推進のほか、国民年金制度の周知・啓発・相談等を積極的に進める。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		委託料	システム改修					320				
需用費		消耗品、追録代等					375					
役務費		電話代・郵送料					190					
使用料及び賃借料		複写機使用料					83					
備品購入費・旅費・負担金		庁用備品54、事務説明会・協議会等旅費38、負担金 5					97					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当 予算	①当初	926	1,688	1,135	1,179						
		②補正予算										
		③流充用額	0	0								
		④繰越額計	0	0	0	0						
	財源内訳 (①③④内訳)	前年度繰越										
		次年度繰越										
		一般財源	0	0	0	0						
		国支出金	926	1,688	1,135	1,179						
		府支出金	0	0								
		地方債	0	0								
		その他特財	0	0								
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	基礎年金等事務費	種類	国庫委託金	実績金額	決算付属資料	頁				
		特財名称	協力・連携に係る経費	種類	国庫委託金	実績金額	決算付属資料	頁				
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	2.25/1.10	2.25 / 1.1	3.12 / 0	3.12 / 0						
⑤概算人件費		20,750	20,750	24,960	24,960							
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		21,676	22,438	26,095	26,139							
⑦執行額		588	1,357	1,065								
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		63.5%	80.4%	90.5%	0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		納付率	%	74	74	74.5	/	75.0%
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		国民年金制度や相談機会の周知	回	24 / 24	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
		単位あたりコスト		24.5	113.1	85.6		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国民年金法で規定されている法定受託事務であり、欠かすことの出来ない事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	必要経費は事務事業を行う上で最低限必要なものである。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	国民年金は国が運営する制度であり、協力・連携事務は、自治体として協力するもので、事業の性質上、成果目標等の設定は難しい。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		国民年金法に基づき、第1号被保険者には適正な手続きを行い、保険料が滞っている被保険者に対しては免除や納付猶予制度について説明するなど、必要に応じた相談活動を行い、親切、丁寧な住民サービスの提供を行なっている。また、年金事務所との協力のもと、年金に関する各種相談にに応じている。	
今後の課題及び方向性		法定受託事務を適正に遂行するとともに、手続きや相談の際には、「年金受給資格を確保する」という視点を持って対応にあたる。未納や未加入が将来の年金受給に及ぼす影響について積極的に説明を行ない、制度の周知・啓発に努めていく。	

庁内及び外部による評価（二次評価）	所見	
	二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	

外部による評価（三次評価）	所見	
	三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	国保運営事務事業											
	会計情報	款	総務費	項	(複数科目合算)	目	(複数科目合算)	会計	国保	事業コード	450201 他	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	昭和36年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険加入者が安心して医療を受けられるように資格の適正化及び適正な保険料徴収で国保財政を健全かつ安定的に運営し各種給付制度を利用できるようにする。				
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	3.7
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会 ほか				
	事業概要	国民健康保険の資格管理・保険給付を行うための必要経費。 ○資格取得・喪失等の受付・脱退勧奨事務 ○国保被保険者証・高齢受給者証・限度額等各認定証等の交付事務 ○高額療養費・療養費等給付申請受付事務 ○予算編成・決算関係事務 ○国民健康保険運営協議会に係る経費 など				
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)	
		国保運営事業一般経費	臨時職員賃金、消耗品、役務費、委託料など		8,100	
国保電算手数料		レセプト電算処理等手数料		12,958		
連合会負担金		京都府国民健康保険団体連合会負担金		1,071		
国保運営協議会事業経費		国保運営協議会にかかる報酬など		247		
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	19,607	39,185	23,766	36,350	
	②補正予算	1,517	0	0	0	
	③流充用額	1,586	1,107	0	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況 財源内訳(①③④内訳)	一般財源	0	0	0	0	
	国支出金	817	3,744	0	0	
	府支出金	0	0	0	5,900	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	21,893	36,548	23,766	30,450	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	6.39/0	5.5/0	3.86 / 0	3.86 / 0		
⑤概算人件費	51,120	44,000	30,880	30,880		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	73,830	84,292	54,646	67,230		
⑦執行額	17,959	32,073	22,376	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	79%	80%	94.2%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		被保険者一人あたりの事業費	円	1,089	2,051	1,499	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	国保資格取得・喪失等の件数	件	6,270	6,616	集計中	/	-	-
	単位あたりコスト		2.9	4.8				
	被保険者数	件	16,488	15,636	14,927	/	-	-
単位あたりコスト		1.1	2.1	1.5				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	被保険者証等の交付など国保制度にかかる各種届出や給付手続きなど、法令に基づき国保事業を適正に運営する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	基幹系システム等を利用し、適時・適切な証発行や給付手続きを行う。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	保険証をはじめとする各証を発行することで、資格有無の確認、医療費請求や各種給付申請の適正化を図ることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	毎年の制度改正に対しシステム等を最大限に利用し、効率的に適正な事業運営に努めている。		
今後の課題及び方向性	平成30年4月から国保都道府県化に伴い複数の新システムが稼働している。今後もオンライン資格確認の導入などが予定されており、制度に対応するため、システムを活用し適正かつ正確に業務を行う。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課								
	作成責任者	芦田 弥生								
	事業名	医療費適性化事業								
	会計情報	款 (複数科目合算)	項 (複数科目合算)	目 (複数科目合算)	会計	国保	事業コード	450209 他	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する					
	開始年度	昭和36年度								
	終了予定年度	平成32年度								
	関連計画等	-								
	根拠法令等	国民健康保険法 等								
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険制度を周知し、適正な資格管理と保険給付を行い、医療費通知の送付と併せて、医療費の適正化を図る。							
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	0.9			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	委託先・実施主体等	京都府国民健康保険団体連合会、現代けんこう出版							
	事業概要	国保資格の適正化、医療給付制度の周知、医療機関への適正受診促進、医療費通知、レセプト点検により過誤を発見・補正することで、医療費の適正化が向上する。 ○国保有資格者への国保加入等を啓発(チラシ・ポスター・新聞など) ○被保険者世帯へ国保制度に関するパンフレット送付(医療給付制度、医療機関への適正受診を啓発) ○医療費通知の送付							
	主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)		
		役員費	郵送料、医療費通知作成手数料				6,743		
委託料		国保パンフレット作成委託料、広告料				1,008			
賃金		臨時職員賃金(レセプト点検、並替)				2,625			
需用費		消耗品等				27			
旅費						7			
関連事業									

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	12,686	11,724	12,682	12,369	
	②補正予算	0	0	0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	予算と執行の状況	一般財源	0	0	0	0
		国支出金	0	0	0	0
		府支出金	3,200	3,200	2,423	0
		地方債	0	0	0	0
その他特財		9,486	8,524	10,259	12,369	
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.07/0	0.07/0	0.06 / 0	0.06 / 0		
⑤概算人件費	560	560	480	480		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	13,246	12,284	13,162	12,849		
⑦執行額	10,786	11,055	10,410			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	85%	94%	82.1%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		レセプト点検による過誤調整額	円	6,594	5,019	/	/	-
レセプト点検による過誤調整件数	件	1,552	1,214	/	/	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	国保制度周知冊子発行回数	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/	1	
	単位あたりコスト		10786.0	11055.0	10410.0			
	医療費通知発送回数	回	6 / 6	6 / 6	3 / 6	/	2	
単位あたりコスト		1797.7	1842.5	3470.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	被保険者に国保制度等の周知を図り、また、医療費通知やレセプト点検等により医療費のチェックを行うことで国民健康保険事業の健全な運営に資することが期待できる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	レセプト点検、医療費通知の出力については国保連合会に委託している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	各世帯に制度内容を知らせる冊子の配布や医療費の額を知らせるはがきなど、適正な受診・医療費の給付及び過誤の請求などにも有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	医療費通知の作成やレセプト2次点検についてはコストを抑えて実施するため国保連合会に委託している。 国保制度の周知については、被保険者の理解度を図る指標がなく目標を設定しづらい事業であるが、各戸配布冊子やホームページ等により広報を行い、引き続き受診の適正化に努める。			
今後の課題及び方向性	確定申告に医療費通知が明細として使用できるようになったが、本市医療費通知ではその要件を満たしていないため、国保連合会及び府内市町村と連携し様式の変更を行い確定申告に使用できる様式にするとともに、医療費通知の発送回数を2回に減らす。			

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	国保賦課・徴収業務経費											
	会計情報	款	総務費	項	徴収費	目	賦課徴収費	会計	国保	事業コード	450213	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	昭和36年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険料の適正公平な賦課・徴収により保険料を確保し、健全な国保運営を行う。				
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	1.5
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	国民健康保険の被保険者世帯ごとに国民健康保険料を賦課し徴収を行う。 ○保険料決定通知書兼納付書の送付 ○口座振替の推進(ペイジー利用) ○督促状の発送 ○所得照会等				
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)
		役務費	通知書等郵送料、コンビニ収納・口座振替手数料			4,033
委託料		通知書等発送業務委託			3,702	
需用費		督促状ハガキ、封筒、口座振替届出書等			367	
負担金		ペイジー年会費			100	
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	11,711	10,687	10,892	10,575	
	②補正予算	0	0	0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	10,575	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	11,711	10,687	10,892	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	1.68/0	2.05/0	1.48 / 0	1.48 / 0	
⑤概算人件費		13,440	16,400	11,840	11,840	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		25,151	27,087	22,732	22,415	
⑦執行額		7,570	8,490	8,202		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		65%	79%	75.3%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		国保料(現年分)収納率	%	94.13 / 94.20	94.24 / 94.40	/ 94.60	/	95.00
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ペイジー口座振替受付	件	350 / 320	345/350	350/370	/	370
			単位あたりコスト	21.6	24.6			
		コンビニ収納件数(現年分)		12,441	12,280	12,500	/	12,500
	単位あたりコスト	0.6	0.7					

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	保険料賦課・収納に際して必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	ペイジー口座振替受付サービスは納期内納付の推進及び納付者の利便性向上に寄与している。コンビニ納付は納付者の利便性向上に寄与している。確実な収納のため口座振替の原則化等も検討する必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	ペイジーやコンビニでの収納サービスにより、納付機会の確保につながっており、有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	収納率は向上している。ペイジーの活用やコンビニでの収納等、今後も引き続き口座振替の勧奨やきめ細やかな対応により、収納率の向上を目指し、国保の安定運営を行う。		
今後の課題及び方向性	今後、飛躍的に収納率が向上していくことは困難であると認識している。多様な支払い方法(モバイル決済など)を導入するなど、納付機会を増やすことにより収納率の向上を目指す。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課									
	作成責任者	芦田 弥生									
	事業名	法定給付事業									
	会計情報	款	保険給付費	項 (複数科目合算)	目 (複数科目合算)	会計	国保	事業コード	450218 他	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する						
	開始年度	昭和36年度									
	終了予定年度	平成32年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	国民健康保険法 等									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険被保険者が医療機関等で一部負担金のみで支払いで医療を受けられることにより、被保険者の負担を軽減する。				
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	375.6
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	国保連合会及び保険者のレセプト審査に基づき、医療費にかかる保険者負担分の支払いを行う。 ○医療機関等からのレセプト送付により診療報酬が請求されたものに対して審査のうえ支払う。 ○保険者の資格審査により過誤返戻事務を国保連合会に対して行う。				
	主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)		
	負担金補助及び交付金	医療費の保険者負担分	5,146,813			
	役務費	レセプト審査及び電算処理手数料	11,133			
	関連事業					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	5,808,631	5,766,632	5,593,739	5,235,356	
	②補正予算	0	0	0	0	
	③流充用額	0	△ 450	0	0	
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳 (①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	0	
	国支出金	1,154,961	1,038,431	0	0	
	府支出金	190,587	143,545	5,518,721	5,216,234	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	4,463,083	4,584,206	75,018	19,122	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	1.22/0	1.24/0	1.57 / 0	1.57 / 0	
⑤概算人件費		9,760	9,920	12,560	12,560	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		5,818,391	5,776,102	5,606,299	5,247,916	
⑦執行額		5,552,480	5,402,980	5,157,946		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		95%	95%	92.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		診療報酬給付額	千円	5,552,480 / -	5,402,980 / -	/ -	/	-
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		レセプト件数	件	243,493 / -	234,868 / -	集計中 / -	/	-
		単位あたりコスト		22.8	23.0			
			/	/	/	/	-	
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国民健康保険法に基づくものである。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国民健康保険法に基づくものである。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国民健康保険法に基づくものである。 被保険者が安心して必要な給付を受けることができ、被保険者の健康の保持増進に有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	国民健康保険法に基づき医療費を保険者が負担することで、国保加入世帯の負担を軽減している。 平成30年度より「療養給付費」、「高額療養費」、「療養費」を統合し、「任意給付事業」分である精神結核医療付加金を除き「法定給付事業」とした。		
今後の課題及び方向性	継続して事業を実施する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課									
	作成責任者	芦田 弥生									
	事業名	出産育児一時金支給事業									
	会計情報	款	保険給付費	項 (複数科目合算)	目 (複数科目合算)	会計	国保	事業コード	450235 他	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する						
	開始年度	昭和36年度									
	終了予定年度	平成32年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	国民健康保険法 等									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険加入世帯の出産育児・葬祭に係る経済的な負担軽減を図る。				
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	2.5
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	国民健康保険被保険者が出産又は死亡したときに、申請により出産育児一時金又は葬祭費を支給する。 ○出産育児一時金は、世帯主に対し40.4万円(産科医療補償制度の場合は42万円)を支給 ○葬祭費は、葬祭を行った者の申請により葬祭費を5万円支給				
	主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)	
		負担金補助及び交付金	出産育児一時金、葬祭費		24,509	
役務費		国保連合会への支払事務手数料		9		
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	37,516	37,516	34,355	31,413	
	②補正予算	0	0	0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況	財源内訳 (①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	31,413	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	31,397	10,505	34,355	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.24 / 0	0.24 / 0	0.39 / 0	0.39 / 0		
⑤概算人件費	1,920	1,920	3,120	3,120		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	39,436	39,436	37,475	34,533		
⑦執行額	31,397	29,642	24,518	31,413		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	80%	75%	71.4%	100.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		出産育児一時金支給金額	千円	25,247 / 31,516	23,692 / 31,516	/ 28,155	/	-
	葬祭費支給額	千円	6,150 / 6,000	5,950 / 6,000	/ 6,200	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	出産育児一時金申請受付件数	件	62 / 75	57 / 75	集計中	/	-	
		単位あたりコスト	407.2	415.6	0.0			
	葬祭費申請受付件数	件	123 / 120	119 / 120	集計中	/	-	
	単位あたりコスト	50.0	50.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国民健康保険被保険者の出産及び死亡による被保険者世帯の経済的負担を軽減する。国の基準に従い条例により金額を定め支給している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	出生届・死亡届の確認により、被保険者へ支給申請案内、国保加入・喪失適用を行う。国の基準に従い条例により金額を定め支給している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国民健康保険被保険者の出産及び死亡による被保険者世帯の経済的負担を軽減する。国の基準に従い条例により金額を定め支給している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>出産した被保険者の世帯、死亡した被保険者の葬祭執行者の負担を軽減している。 平成30年度より、「出産育児一時金」、「葬祭費」を統合し、「法定任意給付事業」とした。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>継続して事業を実施する。 支給額は市町村条例によるが、京都市内では1町を除き統一されており、平成31年度からは全26市町村同基準となる。</p>			

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	任意給付事業											
	会計情報	款	保険給付費	項	精神結核医療付加金	目	精神結核医療付加金	会計	国保	事業コード	450237	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険加入世帯の精神疾患、結核に係る医療費の負担軽減を図る。					
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	0.3	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第37条の2第1項、障害者自立支援法に規定する別途定める結核医療及び精神障害医療の給付。					
	主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	負担金	精神・結核に係る医療費			4,408		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
①当初	4,562	4,111	4,461	4,461	
②補正予算	0	0	0	0	
③流充用額	0	450	0	0	
④繰越額計		0	0	0	
前年度繰越		0	0	0	
次年度繰越		0	0	0	
財源内訳(①③④内訳)					
一般財源	0	0	0	0	
国支出金	0	0	0	0	
府支出金	700	700	300	0	
地方債	0	0	0	0	
その他特財	3,862	3,411	4,161	4,461	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.02/0	0.02 / 0	0.02 / 0	
⑤概算人件費	80	160	160	160	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,642	4,721	4,621	4,621	
⑦執行額	4,358	4,561	4,408		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	95.5%	100.0%	98.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		精神結核医療付加金給付額	千円	4,358 /	4,561 /	/	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	活動実績	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		支給件数	件	5,175 /	5,361 /	/	/	-
		単位あたりコスト		0.8	0.9		/	
		単位あたりコスト						

一次評価 (担当課による自己評価)	項目		評価	評価に対する説明
	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国民健康保険被保険者の精神疾患、結核の医療にかかる経済的負担を軽減する。条例により規定し支給している。京都府内統一となっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国民健康保険被保険者の精神疾患、結核の医療にかかる経済的負担を軽減する。条例により規定し支給している。京都府内統一となっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国民健康保険被保険者の精神疾患、結核の医療にかかる経済的負担を軽減する。条例により規定し支給している。京都府内統一となっている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	国民健康保険加入世帯の精神疾患、結核に係る医療費負担を軽減している。平成30年度より、「療養給付費」から分割。			
今後の課題及び方向性	継続して事業を実施する。支給は市町村条例によるものであるが、京都府内市町村同様の取扱いである。			

庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	所見	
	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】		

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	共同事業拠出金											
	会計情報	款	共同事業拠出金	項	共同事業拠出金	目	その他共同事業事務費	会計	国保	事業コード	450243	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府下共同事務)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	退職被保険者等にかかる保険給付費は、被用者保険等保険者が負担すべきものであり、退職被保険者等に該当するにもかかわらず一般被保険者となっている者を抽出し退職被保険者とするにより、国保の保険給付費を抑えることができる。										
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	国保中央会が日本年金機構等から受けた年金受給権者リストにより、国保連合会が退職被保険者等に該当すると思われる被保険者を抽出し、対象者一覧表等を作成し市町村に提供している。 国保中央会規定に基づき、年金受給者数に応じて費用が徴収される。 (平成30年度から保険財政共同安定化事業、高額医療費共同事業は廃止となり、上記退職者医療共同事業のみとなっている。)										

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
①当初	2,002,027	1,982,541	3	3	
②補正予算	17,673	0	0	0	
③流充用額	0	0	0	0	
④繰越額計		0	0	0	
前年度繰越		0	0	0	
次年度繰越		0	0	0	
財源内訳 (①③④内訳)					
一般財源	0	0	0	0	
国支出金	50,277	64,858	0	0	
府支出金	50,277	64,858	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他特財	1,919,146	1,852,825	3	3	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.04/0	0.04/0	0.01 / 0	0.01 / 0	
⑤概算人件費	320	320	80	80	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,020,020	1,982,861	83	83	
⑦執行額	1,874,357	1,769,528	1		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	93%	89%	33.3%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		支出額	千円	1,874,357 / -	1,769,528 / -	1	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	振替処理回数	回			4 / 4	/	/ 4	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/	0	
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国保中央会規定に基づく支出
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国保中央会規定に基づく支出
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国保中央会規定に基づく支出
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>保険財政共同安定化事業、高額医療費共同事業が廃止されたため、平成30年度以降の活動実績及び成果実績をそれぞれ振替処理回数、振替額とした。</p> <p>年間4回の振替を行ったが、うち2回は振替対象が無かった。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>国保中央会の規定に基づき、拠出金の支出を継続する。</p>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	健康増進事業											
	会計情報	款	保健事業費	項	保健事業費	目	保健衛生普及費	会計	国保	事業コード	450252	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	福知山市国民健康保険保健事業実施計画											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	医療費を抑えるため効果的な保健事業の実施を図るための福知山市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)で抽出した健康課題を解決するため、イベント等の啓発事業や健康教室等で病態の知識を深め、被保険者に健康管理の大切さを意識付ける。また、日々の生活習慣を被保険者自らが見直し改善することで疾患の重症化を予防し、重症化に伴う医療費の高騰を防ぐことを目的とする。					
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	0.0	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	各保健福祉センターにおいて健康増進のための保健事業を実施する。 健康増進と疾病の重症化防止を進める教室・イベントでの啓発を行う。 ○人工透析を必要とする腎不全を予防する糖尿病・高血圧・脂質異常症に対する病態別健康教室の実施 ○各支所等で行われるイベントで行われる健康啓発コーナーで健診の啓発や健康チェック等実施					
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費	消耗品、イベント用健康グッズ			101	
		賃金	臨時職員(看護師)賃金			229	
		報償費	講師謝礼			98	
		役務費	郵送料			28	
旅費					19		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	1,005	1,005	690	610	
	②補正予算	0	0	0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	1,005	1,005	690	610	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.02/0	0.02/0	0 / 0	0 / 0	
⑤概算人件費		160	160	0	0	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		1,165	1,165	690	610	
⑦執行額		729	753	475		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		73%	75%	68.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		新規透析導入者(特定疾病受給者症の発行者数)	人	12 (6)/ 6	7/5	7(4)/5	/	/ 5
		教室参加者の疾患発生率	%	0	0	0/0	/	/ 0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		イベント開催啓発	回	4 / 4	4 / 4	5/4 今年度で終了	/	/ 4
		単位あたりコスト		182.3	188.3	95.0		
		教室参加人数(延)	人	280	263	125	/	0
	単位あたりコスト		2.6	2.9	3.8			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	啓発事業や健康教室事業で被保険者に健康管理の大切さを意識づけるとともに、医療費の抑制につなげることができるため必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	多くの市民が参加するイベントで啓発を行い、教室では健診の結果から重症化のハイリスク者に対する指導を行うなど、対象者に応じた事業展開ができています。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	啓発事業や健康教室事業に参加することで、健康維持管理への意識醸成が図られる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>・平成28年度より事業内容を組み替えて実施しているため、28、29年の2年度での評価は難しいが、活動実績としてイベントでの啓発は目標どおり行っている。平成30年度は、イベントの回数が1回増えたため増加となっている。31年度も同様の実施回数の予定。</p> <p>・平成30年度は内容が重複している教室について各保健センターで実施していたものを集約しておこなったことで開催人数が減少した。</p> <p>・成果実績評価としては、新規透析導入(特定疾病受給者証の申請者数)を項目として挙げ、28年度は総数では上昇しているが国保に加入する前からすでに受給者証を持っていた人を除いた人数(カッコ内の数字)では目標を達成している。平成30年度は総数7人であったが、うち、4人は国保加入と同時に透析導入であったため、3人が元々国保加入者であり新規に透析導入となった者となる。</p>		
	今後の課題及び方向性	<p>・人工透析の導入者を評価指標としてあげたが、すでに透析を導入している人が国保に加入する場合があります。保険者の枠を越えた取り組みが必要であるとともに、アウトカム指標としては「1年以上の国保加入歴(重症化予防の対策を受ける期間があった年数)の者のうち、透析導入となった者」にするのが望ましいのではないかと考える。</p> <p>・健康教室について開催人数が減少したが、エリア外にも広く周知をおこなうことで参加人数を確保していきたい。</p> <p>・イベント開催啓発については、2年連続100%達成しているため、項目として適正か検討し、30年度以降は廃止したい。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	国保人間ドック事業											
	会計情報	款	保健事業費	項	保健事業費	目	疾病予防費	会計	国保	事業コード	450259	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	昭和59年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	国民健康保険特定健康診査等実施計画											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	被保険者の健康増進と医療費の抑制は保険者にとって最大の目的であるが、疾病の重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につける必要がある。健康診査とがん検診が同時に含まれる総合的な健診を、生活習慣病及び悪性新生物の早期からの発見、また重症化予防を目的として行うことにより、被保険者の健康の保持増進、生活習慣病及びがんによる医療費の抑制を目指す。										
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者(30歳以上)	対象者数	13,000	単位あたりコスト	1.5						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	福知山医師会										
	事業概要	【実施医療機関】福知山市民病院・京都ルネス病院 【検査内容】基本的検査(問診・身体測定・理学的検査・血圧)・尿検査・血液検査(脂質・貧血・血糖・肝機能・腎機能・尿酸)・心電図検査・腹部超音波検査・腫瘍マーカー検査・胃部検査(胃透視か胃カメラか選択)・胸部レントゲン検査・便検査(便潜血2日法) 【自己負担金額】14,600円(委託金額の約4割分) 【実施期間】5月中旬～翌年3月										
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
		委託料	ドック業務委託料					17,351				
		需用費	ドック関連帳票、申込書印刷費					33				
		役務費	受診決定通知書発送					100				
	関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	23,187	20,848	17,871	19,409
	②補正予算	295	0	0	0
	③流充用額	0	0	0	0
	④繰越額計		0	0	0
	前年度繰越		0	0	0
	次年度繰越		0	0	0
財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	0	0	0	0
	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	23,482	20,848	17,871	19,409
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人員費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.31/0	0.31/0	0.19 / 0	0.19 / 0
	⑤概算人員費	2,480	2,480	1,520	1,520
	⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	25,962	23,328	19,391	20,929
	⑦執行額	23,314	18,763	17,484	
	執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99%	90%	97.8%	0.0%

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	生活習慣病の占める国保医療費割合	%		19.2% / 22.5%	19.8%/22.0%	20.1% / 21.5%	/
継続受診者割合(2年連続)	%		65.6%/(基準年)	72.3/67%	80.2/68%	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	人間ドック受診者数	人	953 / 900	874 / 950	885/ 826	/	950
	単位あたりコスト		24.5	21.5	19.8		
	受診啓発回数(個別勧奨も含)	回	3 / 3	3 / 3	3 / 3	/	3
単位あたりコスト		7771.3	6254.3	5828.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	疾病の早期発見、早期治療により医療費を抑制するため、また、国保加入者自らが健康に関する意識を高め生活習慣を改善するために必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	診療報酬に準じた額で福知山医師会指定の医療機関に検査を委託し、受診者の自己負担金については他の健診との負担額を考慮し設定している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	人間ドックを受け、異常を発見し治療につなげることで、一時的には医療費がかかる要因になるが、将来的に医療費の抑制が期待できる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>・特定健診を含めて、被保険者の健康の増進と疾病の重症化予防、将来の医療費を抑制するための事業に有用なデータの取得などに有効であり必要な事業であると考えている。取得した情報は、健康管理システムにおいて管理し、特定保健指導が必要な人には案内を送付し、生活習慣改善に向けての指導を行っている。国保医療費における生活習慣病割合は横ばいであるが、引き続き指導を継続し、重症化の予防に努めたい。</p> <p>・近年健康に対する関心が高まってきており、総合的に受診できる人間ドックの受診者数は29年度は若干減少したものの、経年的にみると増加している。各種媒体を利用した広報により、特定健康診査と併せて受診者のさらなる増加、定期的な健康管理の習慣づけを目指し、個別通知等の啓発を行っていく。</p>	
今後の課題及び方向性		人間ドック受診者数の増加に伴う経費増について、他の健診事業等とのバランスを考えながら自己負担金額の再検討を予定している。活動実績の受診啓発回数は、H28、29年度と目標達成率100%であったので、目標を終了する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	国保健診事業											
	会計情報	款	保健事業費	項	保健事業費	目	疾病予防費	会計	国保	事業コード	450282	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	健康増進計画											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大腸がん、前立腺がん検診を実施することにより、①予防に対する知識を普及させる。②自覚症状の無い早期の発見、早期治療による死亡数の減少及び医療費の抑制を図る。妊婦歯科健診により、①安全な妊娠・出産につなげる。②妊娠中から口腔ケアの習慣を身につけ、家族全体の歯の健康管理を図る。いずれの検診・健診も重症化を防ぎ、対象者の生活の質を高めることを目的とする。					
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者(年齢等の制限あり)	対象者数	12,000	単位あたりコスト	0.6	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	福知山医師会・京都予防医学センター					
	事業概要	①大腸(40歳以上)②前立腺(50歳以上) 【集団検診】保健福祉センターや地域公民館 【個別検診】市内の委託医療機関 (検診方法・自己負担金)①大腸:便潜血2日法・300円②前立腺:腫瘍マーカーPSA検査・200円(無料制度有) ③妊婦歯科健診 母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査受診票を交付→出産日までに協力歯科医療機関において個別健診を受診 ※いずれも①②健康医療課③子ども政策室で実施する方法に準ずる。					
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		委託料	検診(集団・個別)業務委託料			5,406	
		需用費	消耗品、問診票印刷費			91	
		役務費	問診票・精密検査受診票郵送費			15	
		扶助費	妊婦歯科健診費償還払い分			0	
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	6,802	6,802	6,990	7,106	
	②補正予算	△ 295	0	0	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	予算と執行の状況	一般財源	0	0	0	0
		国支出金	0	0	0	0
		府支出金	2,827	2,827	2,868	2,872
		地方債	0	0	0	0
その他特財		3,975	3,975	4,122	4,234	
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	0.03/0	0.03/0	0.1 / 0	0.1 / 0		
⑤概算人件費	240	240	800	800		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	6,747	7,042	7,790	7,906		
⑦執行額	6,150	6,196	5,512			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	95%	91%	78.9%	0.0%		

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	前立腺がん発見者数(国保)	人	7	3	5	/	0
大腸がん発見者数(国保)	人	10	7	4	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	前立腺がん検診受診率	%	19.4 / 19.0	20.8 / 19.0	19.5 / 19.0	/	1
	単位あたりコスト		317.0	297.9	282.7		
	大腸がん検診受診率	%	14.2 / 18.0	15.0 / 18.0	14.4/18.0	/	0
単位あたりコスト		433.1	413.1	382.8			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	がんは、本市医療費支出の第1位となっており、検診による早期発見、早期治療により医療費を抑制するため必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国保人間ドック(大腸検査はドックに含まれる)受診時に前立腺がん検診を希望された被保険者が同時に受診できるよう、医療機関と情報を連携して行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	検診を実施し、早期にがんが見つかることで、検診を受けずに進行した場合の医療費との差が出るためがん発見者数の成果実績は妥当であるとする。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>・本事業により、毎年がんの発見がある。これによりがんの進行を阻止し、治療が開始されることで本目的を達成できていると考える。しかしながら、検診の受診率は横ばいで増加はしていない。検診の受診率を向上させるためには対象者本人の検診を受ける意識の醸成が必要であると考え。そのため、京都府が実施する小中学校で行われる「いのちのがん教育事業」と連携し、小中学生を通じてがん検診の啓発を行っていることは、様々な年代からのアプローチ方法の一つとして有効ではないかと考える。(がん啓発は健康医療課が実施しているが、国保保健師も兼務であり、今後も連携しあいながら啓発をおこなう)</p> <p>・妊婦歯科健診についても母子手帳発行時に問診票を対面で対象者に渡すことで受診の必要性、勧奨を行っている。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>・各種媒体を利用した広報、周知(国保パンフレット・リーフレット・新聞掲載等)に加え、近隣市町村に勤めながらも国保加入をされている被保険者にも情報が届くよう、近隣市町村と連携したがん検診の情報提供を行うなど、受診率の向上に今後も努める。</p> <p>・特定健診の受診勧奨とドッキングし、体験談を加えるなど広報啓発の工夫により対象者に周知を行う。</p> <p>・WEBを利用した集団検診予約を取り入れ、受診者数の増加を目指す。</p>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	基金積立事業											
	会計情報	款	基金積立金	項	基金積立金	目	国民健康保険事業基金	会計	国保	事業コード	450260	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	昭和58年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険事業の健全な運営及び保健事業の実施に必要な財源に充てるため、国民健康保険事業基金を設置する。高額療養費又は出産育児一時金の支給対象となる者に対し、必要な資金を貸し付け、当該世帯の生活の安定を図るため、高額療養費貸付基金又は出産費貸付基金を設置する。					
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	9.7	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	決算における剰余金を国民健康保険事業基金に積み立て、安定的な財政運営に資する。各基金の預金利息を積み立てる。					

項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
国民健康保険事業基金積立金	積立金	145,305
高額療養費貸付基金積立金	繰出金	8
出産費貸付基金積立金	繰出金	4

関連事業						
------	--	--	--	--	--	--

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
①当初	203	119	217	571		
②補正予算	23,831	199,044	145,078	0		
③流充用額	0	0	23	0		
④繰越額計		0	0	0		
前年度繰越		0	0	0		
次年度繰越		0	0	0		
財源内訳(①③④内訳)						
一般財源	0	0	145,101	0		
国支出金	0	0	0	0		
府支出金	0	0	0	0		
地方債	0	0	0	0		
その他特財	24,034	199,163	217	571		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.04/0	0.03/0	0.01 / 0	0.01 / 0		
⑤概算人件費	320	240	80	80		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	24,354	199,403	145,398	651		
⑦執行額	23,900	199,077	145,317			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99%	100%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		国保事業基金年度末残高	千円	63 /	113,609 /	113,609 /	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	国保事業基金増減額	千円	△84,981 / △28,000	113,609 / 0	145,078 / 0	/	-	
	単位あたりコスト							
高額療養費貸付基金貸付件数	件	1 / 2	0 / 2	1 / 2	/	-		
単位あたりコスト								

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	国民健康保険事業の健全で安定した運営、被保険者の一時的費用負担の軽減のため必要である。出産費貸付基金については、制度変更により貸付件数が減っている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	財政部局、会計部局と連携し、効率的な運用に努めている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	国民健康保険事業の健全で安定した運営のため、積立目標額に国の示す基準を設定している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	国民健康保険事業基金については、決算剰余金を積み立て、歳入が不足したり歳出が増大した場合に取り崩して国保財政の安定のため利用しているが、適正な積立額が確保できておらず、余裕を持った財政運営が困難な状況である。 平成29年度については、年度当初に基金が枯渇していたが、平成28年度決算剰余金を基金に積み立て、年度末に一部を取り崩し収入不足を補填した。 平成30年度については平成29年度決算剰余金から国庫返還金を差し引いた額を基金に積み立てた。		
今後の課題及び方向性	適正な基金保有額は給付費の5%程度としていたが、平成30年度の国保都道府県単位化後の適正な保有額について検討し、積立目標を見直したうえで計画的に積み立てを行う必要がある。 令和元年度については基金の取り崩しにより、保険料を据え置きとしたため基金の積立額は大幅に減少する見込である。今後、国保財政の安定のために適正な保有額を見極め、保険料の引き上げなどについても検討していく。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	特定健康診査等事業											
	会計情報	款	保健事業費	項	特定健康診査等事業費	目	特定健康診査等事業費	会計	国保	事業コード	450288	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	国民健康保険特定健康診査等実施計画											
	根拠法令等	国民健康保険法 高齢者の医療の確保に関する法律等											
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	被保険者の健康増進と医療費の抑制は保険者にとって最大の目的であるが、疾病の重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につける必要がある。生活習慣病予防を目的とした健診を受け、身体の異常を早期に発見し、専門職による保健指導を行い、または医療機関受診へつなげることで被保険者の健康を維持し、重症化に伴う医療費の増大を抑制することを目的とする。										
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)	対象者数	12,000	単位あたりコスト	5.1						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	福知山医師会・京都予防医学センター										
	事業概要	特定健康診査・・・メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病を予防するための指導につなげる健診を実施する。 対象者に特定健康診査受診券を送付し、集団健診と委託医療機関での個別健診を実施。 【期間】集団健診:6~10月 個別健診:5月~11月 【自己負担額】500円(40歳、50歳、70歳以上は無料) 特定保健指導・・・特定健診の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群に対し、生活習慣病改善のための保健指導を行う。 総合健康管理システムを構築し、被保険者の健診データを保管、継続的な健診や保健指導を実施。										
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)					
		委託料	検査業務委託料、電算機器保守委託料				41,454					
		賃金	臨時職員賃金				2,592					
		役務費	健診問診票の発送、特定健診受診券の発送など				2,687					
		使用料及び賃借料	システム賃借料、施設利用料				1,963					
報償費・需用費・備品購入費・扶助費		講師謝礼、消耗品、問診票の印刷など				609						
関連事業												

区分	H28		H29		H30		R1		R2要求額		
	①当初	60,004	60,421	59,589	63,322						
②補正予算	0	0	0	0							
③流充用額	0	0	0	0							
④繰越額計	0	0	0	0							
前年度繰越		0	0	0							
次年度繰越		0	0	0							
財源内訳(①③④内訳)	0		0		0		0		0		
一般財源	10,706		10,706		0		0		0		
国支出金	8,706		8,706		47,534		48,397				
府支出金	0		0		0		0				
地方債	40,592		41,009		12,055		14,925				
その他特財											
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額			決算付属資料			頁
	特財名称	種類			実績金額			決算付属資料			頁
従事職員数 (正職/嘱託)	0.11/0		1.81/0.3		0.2/0		0.2/0				
⑤概算人件費	880		15,230		1,600		1,600				
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	60,884		75,651		61,189		64,922				
⑦執行額	50,896		53,536		49,305						
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	85%		89%		82.7%		0.0%				

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	生活習慣病の占める国保医療費割合	%		19.2% / 22.5%	19.8%/22.0%	20.1% / 21.5%	/
健診継続受診者(2年連続)	人		2,400人	2,530人	2,541人(76.6%)	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	特定健康診査受診率(法定)	%	35.0 / 32.3	37.8 / 60.0	35.0/ 38.0	/	60
	単位あたりコスト		1454.2	1416.3	1408.7		
	特定健康診査受診率(独自)	%	26.2%	28.7%	25.7	/	0
単位あたりコスト		1942.6	1865.4	1918.5			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	法令により平成20年から各保険者に対し実施が義務付けられたものであるが、本市の健康課題である高血圧・糖尿病をはじめとする生活習慣病を改善し、重症化を予防するためにも必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	集団健診では送迎バスを配車するなど、交通手段がない者についても受診できるように工夫を行っている。500円の負担金設定は高くすると受診率が下がってしまうリスクを伴う。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国の受診率目標に対する達成度が低く推移していることが課題であるが被保険者の健康保持、医療費支出の高騰を防ぐために有効な事業である。健診を受けるという意識の醸成を測るため継続受診者数を上げているが受診率が変わると人数も増減するため、継続受診率が望ましいかと考えている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>国が掲げる市町村国保目標受診率60%は達成できていないが、制度が開始となった平成20年度の受診率21.9%から、平成29年度までに15.9%の増加をしていることは、健診を受けて体の異変に気付くことができ人が増えたと考えられるため一定の評価ができると考える。</p> <p>平成30年度の見込みでは、個別健康診査の受診者数が減少し、受診率が減少になる見込み。</p> <p>国保医療費(5月診療分)における生活習慣病の割合は目標値は達成しているものの若干の増加をしており、生活習慣を改善するための対象者を抽出するための特定健診受診者を増加させることは最重要事項であると考ええる。</p>			
今後の課題及び方向性	<p>継続受診者の他に、今までに健診を受けたことがない健診未受診者層に向けたアプローチが必要であり、健康意識の低い(健康だと思っているため健診を受けていない)若年層に向けた啓発が重要であると考え(継続的な課題)。そのためには、受診率向上のための広報、健康教室等による啓発、28年度から実施し受診率向上の効果があつた新しく健診の対象となる40歳の健診無料化をさらに拡大し、個別具体的な受診勧奨などの対策を継続していく。</p> <p>また、28・29年度と実施したソーシャルマーケティング手法に加え、厚生労働省・経済産業省が今後の社会保障改革に活用を見込んでいる「ナッジ」の理論を取り入れたメッセージを組み込んだ未受診勧奨を2回行い、受診勧奨効果を高め受診者数を増加させる。</p> <p>保健指導についてもタイミングを逃がさない利用勧奨を行うため、迅速な案内通知発送(受診日から90日以内を目標とする)や医療機関に健診結果返却時に勧奨する依頼を行う等利用者を多くする取組みを行っていく。</p>			

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見		

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	京都府税務共同化事業											
	会計情報	款	総務費	項	徴収費	目	賦課徴収費	会計	国保	事業コード	450292	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成22年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府・市協調実施)											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	納付義務者の利便性向上を図るとともに、滞納整理事務を効果的、効率的に行い、適正な賦課と確実な徴収により収納率の向上を図り、保険料を確保する。					
	対象者	国民健康保険料滞納者	対象者数	1,200	単位あたりコスト	22.2	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	「京都府税務機構」の構成団体として、運営経費を負担する。					
主な経費と具体的内容 (H30実績)		項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	負担金	構成団体負担金(国保分)			25,487		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	21,563	22,461	23,201	23,269	
	②補正予算	2,820	4,042	3,083	0	
	③流充用額	0	0	0	0	
	④繰越額計		0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	24,383	26,503	26,284	23,269	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.35/0	0.35/0	0.04 / 0	0.04 / 0	
⑤概算人件費		2,800	2,800	320	320	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		27,183	29,303	26,604	23,589	
⑦執行額		23,303	26,350	25,487		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		96%	99%	97.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		国保料(滞納繰越分)収納率	%	33.65 / 33.80	31.24 / 33.80	28.37/33.80	/	33.80
		滞納者数		1,343/1,200	1,338/1,200	1,208/1,200	/	1,200
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		差押件数・交付要件数	件	270	260	255	/	250
		単位あたりコスト		86.3	101.3	99.9		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	滞納になった案件(税・料)を税機構に全件移管し徴収業務を一元的に行うことで、納税者にとって分かりやすい事務処理と、効果的な滞納整理となっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	納税者の利便性の向上や収納管理業務等の効率化が図られている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	税機構移管前と比べて滞納分の収納率は、大きく上昇している。しかしながら、換価できる資産が少なくなり、滞納者が固定化されてきている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年度の国民健康保険料(滞納分)の収納率は、機構設立時(平成22年度)と比べ、8.51ポイント高く、京都地方税機構への移管による保険料の収納は有効である。	
	今後の課題及び方向性	換価できる資産が減少していることで、滞納繰越分の収納率は頭打ちの状況である。滞納繰越分が減少した分、現年度分の滞納について年度内納付させることにより現年度分の収納率を上げていく。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課											
	作成責任者	芦田 弥生											
	事業名	糖尿病腎症重症化予防事業											
	会計情報	款	保健事業費	項	保健事業費	目	疾病予防費	会計	国保	事業コード	450293	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	国民健康保険法 等											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	糖尿病から腎症への移行を遅延させるためには、早期からの糖尿病の発見及びコントロール(治療)が必要になる。本事業により腎症への移行、糖尿病の重症化を予防することで、人工透析の新規導入数を減少させ、医療費の抑制、被保険者のQOLの向上を目指す。					
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	0.3	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(株)データホライゾン					
	事業概要	【①未治療者対策】 内容: 昨年度特定健康診査の結果、重症化リスクの高い医療機関未受診者に対して、受療勧奨を行う。 方法: レセプトデータの分析後、対象者を抽出し通知文書を送付。その後の受診をレセプトにより確認。 【②治療中断者対策】 内容: 通院中の患者で、最終受診日から6か月以上経過して受診した記録がない者に対して、受療勧奨を行う。 方法: レセプトデータの分析後、対象者を抽出し通知文書を送付。その後の受診をレセプトにより確認後、未受診者には訪問を行う。					
	主な経費と 具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		委託料	レセプトデータ分析委託			1,972	
需用費					0		
役務費					0		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			3,961	4,071	
	②補正予算			0	0	
	③流充用額			0	0	
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
	財源内訳(①④内訳)					
	一般財源			0	0	
	国支出金			0	0	
	府支出金			3,961	4,071	
	地方債			0	0	
	その他特財			0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)		0.11 / 0	0.11 / 0		
⑤概算人件費			880	880		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)			4,841	4,951		
⑦執行額			1,972			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)			49.8%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		医療機関受療率(①未治療②治療中断)	%			①44.4/20 ②33.3/20	/	
		新規透析導入者(社保からの転入除く)	人			/0	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		関係者との連携回数	回			3/3	/	
		①通知率②訪問実施率	%			①100/100 ②100/100	/	
	単位あたりコスト				657.3			
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市の国保糖尿病患者数は1,676件(平成30年3月分)あり、そのうち40～74歳が1,651件と特定健康診査対象者の年齢が98.5%を占める。そのため、健診受診者よりハイリスク者を抽出し、治療を勧奨することは被保険者の早期治療や治療再開につながり、目的の達成のために必要な事業であると考えられる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	30年度は業務委託での実施であったため、分析費に費用がかかり、結果、対象者として抽出したのは58人と一人当たりのコストと考えると高い。しかしながら介入した人の透析導入(1人あたり500万円)を防ぐことができたと考えられるならば妥当な水準であると考えられる。来年度以降は持続可能な事業を目指して、可能な部分は自前で行える方法を模索しコスト削減に努める。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	受療率は医療再開の直接的指標となり、また医療機関への受診は、レセプトを確認することで把握ができるため、適切な指標であると考えられる。 外部資源については、今年度からの事業であり、ノウハウのある業者委託により資料を作成してもらったが、今後はそれらを参考に外部委託以外の方法での事業展開を模索したい。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>・事業内容、対象者について保険年金課内で協議し、6月の医師会理事会で審議いただけるよう取り組むことができ、審議の後了承を得、事業を実施することができ、また、健康医療課とも事業内容の共有を行い連携を行うことができた事業であった。</p> <p>・受療率の目標設定については、今年度初めての事業であり参考となる指標が無かったことから、独自設定で行った経過がある。今回の受療率をベースに、今後の目標値を設定していきたい。</p> <p>・業者委託外の取組として、治療中断者(重症化リスクの高いと思われる者)については、勧奨通知の後未受診の者に保険年金課保健師が訪問を行った。健診データ等がなかったため、電話番号不明で直接伺い、不在者、拒否もあったが対面し治療再開の重要性を話すことができた人もあった。治療の重要性を意識付けていくためにも、勧奨後、もう一度アプローチを行っていくことは必要であると考えられるため、今後も実施していきたい。</p>		
	<p>【コストについて】</p> <p>今年度初めての事業展開を行う中で、受診勧奨の通知物(資料)についてのノウハウが無かったため、業務委託により作成、印刷等を行った。その結果、分析から発送までのコストがかかった。本事業は、国保の国庫補助金(10/10)を活用しての委託事業であるが、今後、この補助金が継続される保証も無く、レセプト分析や対象者抽出・資料作成など高額となる事業のため、事業が実施できなくなるリスクがあることから、対象者抽出をツールを用いるなど独自で行う方法か、もしくは抽出作業を国保連で行い、啓発資料は京都府が現在作成している媒体を使用するなど、継続可能な方法を意識し経費を削減しながら事業を行うことが重要であると考えられる。</p> <p>【対象者について】</p> <p>今回、訪問を通じて対象者の中には保険料滞納者が50%と、経済的理由による治療中断も考えられる対象者がいた。治療を勧めても保険証が切れていたり、支払う医療費が無い場合も考えられるため、訪問時に保険料の相談も出来るよう保健師だけでなく、相談ができる職員の同行も検討していくことで、保険料納入率も上げていくことも期待できるのではないかと考える。</p>		
	今後の課題及び方向性		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	担当課	市民総務部 保険年金課									
	作成責任者	芦田 弥生									
	事業名	国民健康保険事業費納付金									
	会計情報	款	国民健康保険事業費納付金	項 (複数科目合算)	目 (複数科目合算)	会計	国保	事業コード	450294 他	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050601	施策名	社会保障制度を適正に運用する						
	開始年度	平成30年度									
	終了予定年度	平成32年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	国民健康保険法 等									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府の国保特別会計において負担する国民健康保険給付費等交付金に要する費用等(前期高齢者納付金等及び後期高齢者支援金等並びに介護納付金の納付に要する費用を含む。)に充てるため、京都府内の市町村が京都府に対し納付金を納める。				
	対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	14,927	単位あたりコスト	113.2
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (納付金支払)				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	国民健康保険法等の法令、京都府国民健康保険運営方針等の基準に基づき、京都府が市町村ごとの納付金を算定する。京都府では、医療費水準(α)を1、所得水準(β)を国基準どおりとして算定している。				

主な経費と具体的内容 (H30実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	負担金	国保事業に係る京都府への納付金	1,689,324

関連事業	
------	--

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初			1,689,326	1,806,295	
	②補正予算			0	0	
	③流充用額			0	0	
	④繰越額計			0	0	
	前年度繰越			0	0	
	次年度繰越			0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源			0	0	
	国支出金			0	0	
	府支出金			9,466	8,683	
	地方債			0	0	
	その他特財			1,679,860	1,797,612	

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0 / 0	0 / 0
⑤概算人件費		0	0
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		1,689,326	1,806,295
⑦執行額		1,689,324	1,806,295
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	100.0%

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
							/	-
							/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			単位あたりコスト				/	
							/	
			単位あたりコスト				/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国民健康保険法に基づくものである。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国民健康保険法に基づくものである。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国民健康保険法に基づくものである。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	国民健康保険法等の法令、京都府国民健康保険運営方針に基づき京都府が算定した金額を負担している。		
今後の課題及び方向性	継続して負担する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】